

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【公開番号】特開2017-5458(P2017-5458A)

【公開日】平成29年1月5日(2017.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-001

【出願番号】特願2015-116689(P2015-116689)

【国際特許分類】

H 0 4 L 9/08 (2006.01)

H 0 4 L 9/14 (2006.01)

G 0 6 F 21/60 (2013.01)

G 0 6 F 21/12 (2013.01)

【F I】

H 0 4 L 9/00 6 0 1 B

H 0 4 L 9/00 6 4 1

G 0 6 F 21/60 3 2 0

G 0 6 F 21/12

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月19日(2017.4.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

ポスト(14)から送出されるデータの受信部(26b)と基本ソフトウェア(30)とアプリケーションプログラム(28)とを備えた端末(16)と、前記端末へデータを送出する発信部(26a)とを備えたポストとを有し、

前記ポストから送出される前記データは、第2暗号鍵(22)により暗号化された第2暗号化コード(24)として送出され、

前記端末は、第1暗号鍵(40)で暗号化され前記アプリケーションプログラムに含まれる第1暗号化コード(29)を復号化するための復号化部(31)と、前記第1暗号鍵に対応し前記基本ソフトウェアに含まれる第1復号鍵(32)と、受信した前記第2暗号化コードを復号化するための復号化部(36)と、を備え、

前記端末は、前記基本ソフトウェアを実行することにより、前記第1暗号化コードを前記第1復号鍵で復号して前記第2暗号鍵に対応する第2復号鍵(34)を取得し、前記第2復号鍵で前記第2暗号化コードを復号することを特徴とするソフトウェア複製防止システム(10)。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1記載の発明に係るソフトウェア複製防止システムは、ポストから送出されるデータの受信部と基本ソフトウェアとアプリケーションプログラムとを備えた端末と、これにデータを送出する発信部を備えたポストとを有する。ポストから送出されるデータは、第2暗号鍵により暗号化された第2暗号化コードとして送出される。端末は、第1暗号鍵

で暗号化され前記アプリケーションプログラムに含まれる第 1 暗号化コードを復号化するための復号化部と、第 1 暗号鍵に対応し前記基本ソフトウェアに含まれる第 1 復号鍵と、受信した第 2 暗号化コードを復号化するための復号化部とを備える。端末は、基本ソフトウェアを実行することにより、第 1 暗号化コードを第 1 復号鍵で復号して第 2 暗号鍵に対応する第 2 復号鍵を取得し、この第 2 復号鍵で第 2 暗号化コードを復号する。